



J-BILAT 月刊ニュースレター
第17号 | 2011年8月

J-BILAT Newsletter
No.17 | August 2011



J-BILAT 月刊ニューズレター 第17号 (2011年8月)

目次 (Contents)

1. 日・EU関係及び、科学・技術政策 関連の話題

- 1.1. 第4期科学技術基本計画の策定
- 1.2. 知的財産推進計画2011

2. J-BILAT 第2回認知度・意見調査の 結果概要

3. ニュース (News)

今後の関連する催し

- 3.1. J-BILAT 第4回成功事例ワークショップ
(医療及びバイオテクノロジー)
- 3.2. 第10回 産学官連携推進会議
- 3.3. イノベーション・ジャパン2011-大学見本市
- 3.4. JFR '11 フランス語による科学シンポジウム
- 3.5. その他、関連する今後の催しのリスト

4. 日本の機関が関わっている欧州プロ ジェクト紹介

その17 EuJoint プロジェクト

5. FP7関連の話題について日本語で書 かれた文献紹介

その9: EUの新しいイノベーション政策~『イノベーション・ユニオン』に含まれるわが国への示唆~

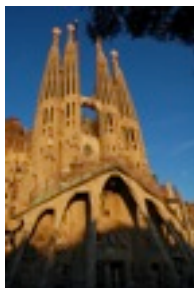
6. 公募情報

- 6.1. 2011年7月20日に発表された公募の詳細
- 6.2. 航空分野の日欧共同公募 (情報更新)
- 6.3. 欧州委員会による第3国向けの公募のまとめ
- 6.4. 日本からの応募が可能なFP7公募一覧

7. プロジェクトデータベースへの登録 のお願い

8. 欧州連合加盟国紹介

その12 スペイン



1. 日・EU関係及び、科学・技術政策関連の話題

今回は、今後の日欧連携にも大きな影響を与えると予想される日本側の政策動向を二点お伝えします。

1.1 第4期科学技術基本計画の策定

第4期科学技術基本計画は、東日本大震災の影響を受けて平成22年度中の成立が見送られ、見直しのもとに8月19日に閣議決定されました。

これは、今後の10年を見据え、2015年までの5年間の科学・技術政策において、中長期的に目指すべき国の姿を明示するものであり、2010年6月に策定された新成長戦略を科学・技術、イノベーションの面から深化・具体化するものと位置付けられています。まずは震災からの復興・再生を謳い、新成長戦略のグリーンイノベーションやライフイノベーションを踏襲した上で、科学・技術、イノベーションの推進のためのシステム改革を推し進めていくものとされています。

この中で、例えば「科学・技術政策とイノベーション戦略を一体的に捉える」事は欧州での次期研究開発イノベーションの枠組みであるHORIZON2020で研究開発からイノベーションまでが継ぎ目なく支援されようとしている事と対応していますし、グリーンイノベーション推進でのエネルギー利用の効率化や省エネルギー、資源戦略、またライフイノベーション推進における医療・介護・健康サービスのための研究開発や産業創成も、欧州での動向と一致するものです（例えば、欧州の新成長戦略Europe2020の中の「包括的成長（inclusive growth）」では、活力ある高齢化（active ageing）も一つの重要なキーワードであり、2012年はEuropean Year for Active Ageingとして様々な活動が予定されています）。

このように、日欧の科学・技術、イノベーションの動向は密接に呼応しており、お互いの協力促進は双方の目的達成のためにも大きな意味を持つものと思われまます。

第4期科学技術基本計画の詳細は、以下のページをご参考にしてください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/main5_a4.htm

1.2 知的財産推進計画2011

今年の知的財産推進計画は、科学技術基本計画に先立ち、2011年6月3日に出されました。こちら東日本大震災への対応を踏まえた物となっており、今後10年、20年という長期的視点での成長を維持していくために、以下の4つの重点戦略が打ち出されました。アジアを軸に、世界的に展開、競争力を強化する事が狙われています。

- * 国際標準化のステージアップ戦略
2010年に特定された7分野：先端医療、水、次世代自動車、鉄道、エネルギーマネジメント、コンテンツメディア、ロボットでの国際標準化の実行と検証；新たな分野の策定
- * 知財イノベーション競争戦略
グローバル知財システムの構築
- * 最先端デジタルネットワーク戦略
知財のデジタル活用、グローバルな侵害対策、デジタル化・ネットワーク基盤の整備
- * クールジャパン（素敵な日本）戦略

以下のページから、本文や要約のダウンロードが可能です。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/>

2. 第2回認知度・意見調査の結果概要

先月号でもご報告をしましたが、J-BILAT プロジェクトでは、その活動の一環としてFP7の認知度や欧州との研究開発協力に関する意見の第2回調査を実施しておりました。7月25日に締切り、前回よりは少なかったものの、188人の方が最後までご回答をくださいました。

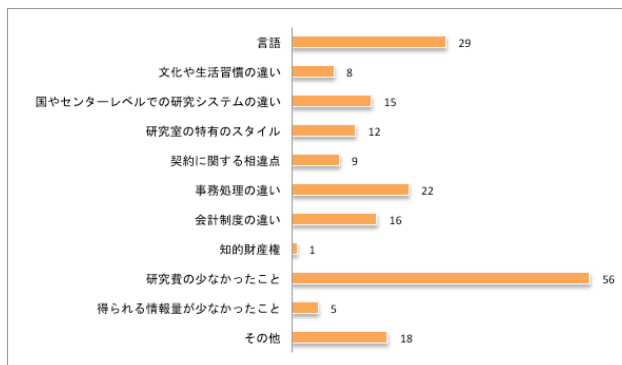
以下に主な結果をいくつかご紹介致します。設問により、ご回答を頂いた方の数が変動していますが、途中までのご回答分も有効なものとして含めてあります。全体のレポートに関しては、自由記述分の英訳が終わり次第、ウェブサイトにて公開を致します。

まず、所属機関を問う設問には221名の回答があり、以下のような内訳となりました。

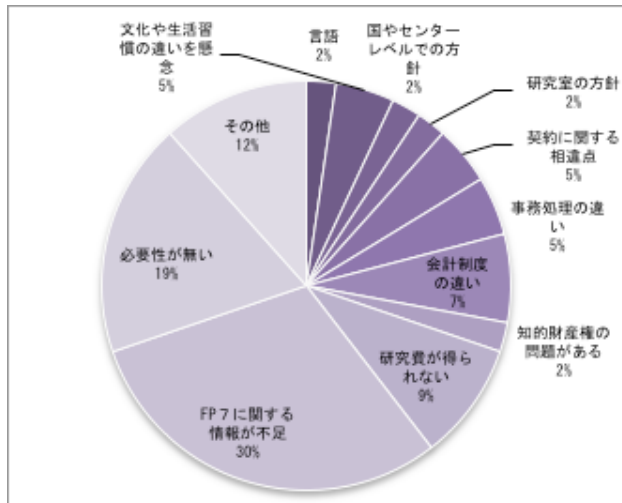
調査回	第1回	第2回
回答数	409	221
国公立大学	78%	56%
公的研究機関	12%	21%
私立大学	3%	4%
企業	1%	5%
助成機関	0%	4%
官公庁	0%	3%

今回は企業や官公庁、助成機関からも複数のご参加を頂いたのが収穫でした。

また、欧州との共同研究の経験をお持ちの方に、その際に一番の障害となった事を尋ねた所、前回と同様に、まずは資金不足、そして言語の壁があったという結果が出ました。



また、今回は、前回殆どいらっしゃらなかったFP7に既に参加をされている方が5%に達し、また参加を検討中の方も7%いらっしゃいました。ご参加の予定のない方に理由を伺った所、依然としてFP7に関する情報不足が主な理由であることが判明しました。



欧州との連携に関するメリットや興味としては、以下のようなご意見が寄せられました。

- * 国際標準規格の形成力活用による事業化促進
- * 双方が有する特長のある研究設備・環境を、特に若手研究者の相互滞在型研究で効果的に活用
- * 環境問題に対応したエネルギー対策

J-BILATでは、今後も益々の情報発信をしていく予定です。

3. ニュース (News)

今後の関連する催し

3.1 J-BILAT・英国大使館 成功事例ワークショップ

英国大使館とJ-BILATはこの秋、成功事例ワークショップを共催し、医療及びバイオテクノロジー分野での英国を含む欧州の事例報告や聴衆を交えた議論により、日欧間の研究開発協力の可能性を探ります。詳細は次号以降で広報致します。

2011年11月21日 (月) 午後、東京

2011年11月22日 (火) 午後、大阪

3.2 第10回 産学官連携推進会議

各省庁、助成機関、研究機関、計21の団体の主催により、第10回産学官連携推進会議が開催されます。今回の会議は、2011年3月の東日本大震災を踏まえ、「我が国の復興・再生に向けた産学連携の促進」をテーマに開催されます。

本ニュースレター冒頭でもお伝えしましたとおり、2011年8月19日に第4期科学技術基本計画が閣議決定されました。そこには、「震災からの復興、再生の実現」、環境・エネルギーを対象とする「グリーンイノベーションの推進」、医療・介護・健康を対象とする「ライフイノベーションの推進」を、我が国の将来にわたる持続的な成長と社会の発展を実現するための主要な柱として位置づけ、科学技術イノベーション政策を戦略的に展開するとともに、長期的視野に立った基礎研究の推進と科学技術を担う人材の育成等を一層強化していく事とされています。

日時：9月21～22日 (土)

会場：東京国際フォーラム、東京

<http://www.sendenkaigi.com/sangakukan/>

3.3 イノベーション・ジャパン2011-大学見本市

大学の最先端技術シーズと産業界との大規模マッチングを通して大学と産業界の連携を促進する「イノベーション・ジャパン2011-大学見本市」が、上記産学官連携推進会議と同時開催されます。

日時：9月21～22日 (土)

会場：東京国際フォーラム、東京

<http://www.innovation-japan.jp/>

公式ツイッターアカウント：@ij2011_official

公式 Facebook ページ：

<http://www.facebook.com/innovationjapan>

3.4 JFR '11 フランス語による科学シンポジウム

フランス語による科学シンポジウム (Journée Francophone de la Recherche; JFR) が下記の通り開催されます。科学技術、人文、社会科学を対象に、フランスとの関係を持ち、日本で研究開発に携わる研究者、企業、団体のために開かれています。

日時：12月17日 (土)

会場：日仏会館、東京

日本で研究開発を行うフランス企業による討論、若手研究者によるフランス語での発表に加え、東日本大震災以降の日本の科学政策や日本におけるフランス科学の影響力といったテーマも取り上げられる予定です。

フランス語での研究交流を望まれる方は、口頭発表をすることができます。9月30日 (金) までにお申し込みください。聴講のみの場合は12月9日まで受け付けておられます。

参加登録等の詳細は、以下のウェブサイトを御覧ください。

<http://jfr-2011.org/index.ja.html>



3.5 その他、関連する今後の催しのリスト

主にヨーロッパで今後開催される FP7 関連イベントを出来る限りまとめています。

催し名	日付	場所	内容、ウェブサイト等
Sixth Meeting of the International Committee on Global Navigation Satellite Systems (ICG)	5-9 September 2011	Tokyo Japan	http://www.icg2011.go.jp/ 日本政府主催による会議。下記も参照。 http://www.unoosa.org/oosa/SAP/gnss/icg.html
2011 Maritime Brokerage Event for the FP-7 Transport Call 2012	7-8 September 2011	London UK	http://www.ssaevents.co.uk/default.html
Internet and societies	7-9 September 2011	Brussels Belgium	http://paradiso-fp7.eu/events/2011-conference/
Challenge Social Innovation Innovating innovation by research – 100 years after Schumpeter	19-21 September 2011	Vienna Austria	http://www.socialinnovation2011.eu/ 2012 年助成に関する、社会科学・人文分野 のネットワーキングイベントも開催
"SCIENCE – Passion, Mission, Responsibilities"	25-27 September 2011	Warsaw Poland	http://www.mariecurie2011.pl/ マリーキュリーフェロー対象のシンポジウム
ICT-2011 Call 8 Information and Networking Day - Intelligent Information Management	26 September 2011	Luxembourg	http://cordis.europa.eu/fp7/ict/content-knowledge/events-20112609-ict-call8-infodays_en.html
AAL Forum 2011	26-28 September 2011	Lecce Italy	http://www.aalforum.eu/ Partnerships for social innovation in Europe がテーマ
World Innovation Convention 2011	28-30 September 2011	Canne France	http://www.winovc.com/index.html
14th European Health Forum	5-8 October 2011	Bad Hofgastein Austria	http://www.ehfg.org/
The 3rd European Conference on Corporate R&D (CONCORD-2011)	6 October 2011	Sevilla Spain	http://iri.jrc.ec.europa.eu/concord-2011/index.html
Fit for Health - International Workshop "Valorisation of FP7 R&D Results"	11 October 2011	Hannover Germany	http://www.fitforhealth.eu/events/fit-for-health-international-workshop-valorisation-of-fp7-r-d-results-/156.aspx
Int. Conference "Planning Research for the Future?"	13-15 October 2011	Berlin Germany	http://www.fu-berlin.de/en/sites/inu/ccd/events/conference2011/
World Standards Day 2011 Conference	14 October 2011	Brussels Belgium	http://ec.europa.eu/enterprise/policies/european-standards/world-standards-day/index_en.htm
FUTURAGE Road Map Launch Conference	18 October 2011	Brussels Belgium	http://futurage.group.shef.ac.uk/ 高齢化に関する研究ロードマップ作成を目的 としたFP7プロジェクトによる発表

催し名	日付	場所	内容、ウェブサイト等
Grenoble Innovation Fair	20-21 October 2011	Grenoble France	http://www.grenoble-innovation-fair.com/GB_home.html イノベーションを指向するスタートアップ企業や研究室のためのイベント
Future Internet Week	24-28 October 2011	Poznan Poland	http://www.fi-poznan.eu/ 様々な催しが同時開催されますが、特に25・26日の Future Internet Assembly は技術トレンドを知るのに良いイベントだそう。
CEAS 2011 International Aerospace Conference	24-28 October 2011	Venice Italy	http://www.ceas2011.org/
ASEPS2011 Asia Europe Physics Summit	26-29 October 2011	Wroclaw Poland	http://aseps.net/ アジア・ヨーロッパ物理学サミット（昨年の第1回はつくばにて開催）
The Second International Workshop on Web Science and Information Exchange in the Medical Web	28 October 2011	Glasgow UK	http://www.meco-project.eu/medex2011
BIO-Europe2011	31 October - 2 November 2011	Düsseldorf Germany	http://www.ebdgroup.com/bioeurope/
MEDICA 2011	16-19 November 2011	Düsseldorf Germany	http://www.medica-tradefair.com/
Network of the Future conference 2011	28-30 November 2011	Paris France	http://www.network-of-the-future.org/
EURASIAPAC final workshop	30 November 2011	Brussels Belgium	http://eurasiapac-fp7.eu/2011/05/30/agenda-registration-final-eurasiapac-workshop/
Innovation Convention 2011	5-6 December 2011	Brussels Belgium	http://ec.europa.eu/ic2011 Europe 2020 のフラッグシップイニシアチブの一つ、イノベーション連合に基づく初めてのコンベンション。ハイレベルの政策決定者や各界の代表者など、千人以上の参加の見込まれるイベント。
Transport Research Arena 2012 - sustainable mobility through innovation	23-26 April 2012	Athens Greece	http://www.traconference.eu/
Global Wordnet Conference 2012	9-13 January 2012	Matsue Japan	http://lang.cs.tut.ac.jp/gwc2012/
eHealth Week 2012	7-9 May 2012	Copenhagen Denmark	http://www.worldofhealthit.org/
ESOF 2012 (Euroscience Open Forum)	11-15 July 2012	Dublin Ireland	http://www.dublinscience2012.ie/

4. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介 その17

EuJoint プロジェクト

プロジェクト名	European-Japanese Ontology Interaction
短縮名	EuJoint
契約番号	247503
プロジェクト開始日	2010年3月15日
期間	24 ヶ月
助成金	21600 ユーロ
コーディネーター	http://www.loa-cnr.it/EuJoint/EuJoint.html
ウェブサイト	http://www.egi.eu/projects/egi-inspire/

第 17 回は、第 14 回に引続き、最近非常に利用の増えている People プログラム（マリーキュリーアクション）の IRSES* タイプのプロジェクト、EuJoint (European-Japanese Ontology Interaction)を取り上げます。コーディネータはイタリアの応用オントロジー研究所（Stefano Borgo 氏）で、全参加機関は、以下の通りです。



参加機関名	国名
Laboratory for Applied Ontology (ISTC-CNR) 応用オントロジー研究所	イタリア
Catholic University of Lublin ルブリンカトリック大学	ポーランド
Delft University of Technology デルフト工科大学	オランダ
The Institute of Scientific and Industrial Research, Osaka University 大阪大学産業科学研究所	日本

日本からの参加者は大阪大学 産業科学研究所の 溝口 理一郎 教授のグループです。以下、ご寄稿をいただきましたので、全文を掲載致します。

* International Research Staff Exchange Scheme

オントロジー基礎理論における、上位オントロジー、人工物と機能、ルールを中心課題として、緊密な相互交流を通して各研究者が持つ理論や定義に関する相互理解を深め、ひいてはオントロジー基礎理論の発展に寄与することを目的としている。2年間で EU 側の研究者が 10 人月で溝口研究室に滞在し、日本側は 6 人月で EU 側の拠点に滞在するという緊密な交流が行われている。参加者は、オントロジー研究の世界のリーダー集団であるイタリアはトレントの応用オントロジー研究所（哲学に深い造詣を持ち、述語論理を武器とする人工知能基礎の研究者）を中心として、デルフト工科大学とルブリンカトリック大学の哲学者、そして大阪大学産研の工学に基づく人工知能の立場等からのオントロジー工学者という多彩な研究者、総勢11名である。成果は当初の予想を遙かに上回るものがあり、国際 Workshop 論文が二つ、Book chapter が一つすでに発表されており、現在 Journal 論文 3編を執筆中である。

本共同研究は、応用オントロジー研究所の Stefano Borgo が、溝口研究室で長年行ってきた機能オントロジーに興味を持ち、その公理化を目的とした共同研究を行いたいので二ヶ月くらい溝口研究室に滞在したいという申し出から始まった。Stefano が資金源を探している内に彼の共同研究者に話が広まり、このような複数のグループからなる本格的な交流を基盤とする共同研究に発展した。研究推進の底流には、上にあげた3つの大テーマに関する溝口研究室のオントロジー研究の成果を哲学的かつ論理的に解明・補強することにあるが、その枠を越えての工学、論理学、哲学という3つの異なるバックグラウンドを持つ研究者のオントロジー基礎理論に関する緊密な交流は極めて刺激的であり、参加者全員に予想以上の良い効果をもたらした。最初の成果は人工物定義における相互が持つ3つの定義の比較論文である。人工物は他の自然物とは異なり、人間の意図が混入しているため、存在の様式が根本的に異なることから哲学的な考察が不可欠であり、意図をどのように扱うかで理論が別れる大変興味深いテーマである。溝口研究室が開発した上位オントロジー YAMATO と機能の公理化も順調に進んでいる。

溝口研究室の参加者にとっての成果という形で見える利点は言うまでもなく、我々の概念的かつ工学的な研究成果が哲学的・論理的に補強されることであるが、それ以上の成果として、哲学者や論理学者がどのように深く、緻密に議論を進め、概念定義の精密な差別化を行うかを実践的交流を通して学んだことである。その成果として、人工物の機能定義から意図を取り除くことが可能であることに気づき、現在世界で初めての、生物機能と人工物機能を統合する統一的機能理論に関する論文執筆を進めるに至った。これは本共同プロジェクトの溝口研究室にとっての最大の効果であると言えよう。

プロジェクトも後半に入り、成果物の執筆を議論するに当たって将来のことを語り合ったところ、参加者全員がプロジェクトの継続を希望して新たな資金源の調査を開始したが、このことは、このプロジェクトが成功裏に進められてきたことの証左と言える。

なお、溝口研究室の 6 人月の訪問費用は EU からは支給されないが、たまたま本研究課題に関連する研究資金を持っていたことから、溝口研究室としては新たな資金の調達は行わなかった。



箕面の勝尾寺にて(2010年7月)

(提供：大阪大学 溝口 理一郎 教授)

溝口グループの詳しい研究内容につきましては、以下のリンクをご参照ください。

<http://www.ei.sanken.osaka-u.ac.jp/main/index.html>

5. FP7関連の話題について日本語で書かれた文献紹介

その9: EUの新しいイノベーション政策~『イノベーション・ユニオン』に含まれるわが国への示唆~

2011年2月4日にみずほ政策インサイトとして発行された文献「EUの新しいイノベーション政策~『イノベーション・ユニオン』に含まれるわが国への示唆~」をご紹介します。欧州の新成長戦略 Europe2020 のフラッグシップイニシアチブの一つ、イノベーション連合の簡潔な解説及び日本との比較、第4期科学技術基本計画策定に於ける我が国のイノベーション政策への提言などを簡潔に記したものです。全文は以下からダウンロードが可能です。

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/policy-insight/MSI110204.pdf>

6. 公募情報

ニュースレター発行時点での最新の情報をお送りしております。

6.1 2011年7月20日に発表された公募の詳細

7月20日に、今年の公募の多くが発表されました。これまで主に Cordis を通じて行われてきた公募情報ですが、Participant portal へと一本化され、応募の前の情報収集、機関登録や応募書類の提出、プロジェクトが始まってからのレポート提出等が、全て一つの窓口から行えるように改良されました。以下がリンクです。

http://ec.europa.eu/research/participants/portal/page/fp7_calls

なお、前号でも既にお知らせしておりますが、J-BILAT では FP7 への直接参加に際して重要となる文書のいくつかの参考和訳を提供しておりますので、注意事項をお読みになった上でご活用頂ければと思います。

以下に、Cooperation プログラム で出されている公募の内、日本が特に明記をされているものを列挙します。詳細は、各公募の書類を御覧ください。

領域2：食料・農業・漁業・バイオテクノロジー

公募番号: FP7-KBBE-2012-6 – single stage

テーマ: KBBE.2012.3.3-02: Support to standardisation for bio-based products

これに基づくプロジェクトは、欧州標準化委員会（CEN）によるバイオ産物の規格・標準化の動きと連携をし、EU、米国、日本、中国、ブラジルといった主な貿易相手国の規格標準との調和を図る事が求められています。

領域3: 情報通信 (ICT)

公募番号: FP7-ICT-2011-8

テーマ: ICT-2011.1.1 Future Networks

コグニティブ無線(cognitive radio)のような重要分野で米国及び日本との協力が望ましいとされています。

テーマ: ICT-2011.1.2 Cloud Computing, Internet of Services and Advanced Software Engineering

クラウドコンピューティング（特にデータの可搬性と互換性）及びエネルギー効率の良いサービスに関して、特に日本との協力が望まれています。

テーマ: ICT-2011.3.1 Very advanced nanoelectronic components: design, engineering, technology and manufacturability

450 mm ウェハの処理に関する標準化の準備作業を含む分野で、材料及び装置を扱う企業をターゲットとして、特に米国、台湾、韓国及び日本との調整やサポートで協力が望まれています。

テーマ: ICT-2011.6.7 Cooperative Systems for energy efficient and sustainable mobility

日本および米国との協力覚書に則り、情報や結果の交換や国際標準化や調和化での協力をする調整・支援プロジェクトが公募されています。

テーマ: ICT-2011 9.6: FET Proactive: Unconventional Computation (UCOMP)

新しい計算法の確立と概念実証、医療、環境やセキュリティーといったICT 以外の分野への貢献に関し、特に米国、カナダ、ニュージーランド及び日本とのグローバルな国際協力が求められています。

テーマ: ICT-2011.9.7: FET Proactive: Dynamics of Multi-Level Complex Systems (DyM-CS)

複雑系科学に基づき、人工及び自然のシステムの組織や構造の特徴づけのための理論構築に向け、新たな数学及び計算方式を開発、実際に大規模かつ異種のデータを用いた検証。米国、日本および中国との協力を特に奨励しています。

領域4: ナノ科学及びナノテクノロジー・材料及び新生産技術**公募番号: FP7-NMP-2012-SMALL-6****テーマ: NMP.2012.4.1-3 Development of advanced magnetic materials without, or with reduced use of, critical raw materials**

EUにとって不可欠な原材料*を用いないか量を減らした磁性材料の開発。必須では無いが、日本もしくは米国のグループとの共同研究開発に向けたテーマだと明記されています。

*EUにとって不可欠な原材料 (Critical Raw Materials) とは、Sb、Be、Co、螢石(CaF₂)、Ga、Ge、グラファイト、In、Mg、Nb、白金族、レアアース、Ta、W の14種。

領域5: エネルギー（原子力を除く）**公募番号: FP7-ENERGY-2012-1****テーマ: ENERGY.2012.7.3.2: Facilitating the deployment of safe stationary batteries**

容量が10 Ah 以上、システムのサイズが 1 MWh 以上のリチウムイオン電池の安全性に関するプロジェクトの公募。特に標準化に関して国際協力が求められており、これに基づく欧州側のプロジェクトと、日本で別個に経産省もしくは NEDO の助成を受けているプロジェクトとの間での情報及び研究者の交換が見込まれています。

領域6: 環境

公募番号: FP7-ENV-2012-two-stage

テーマ: ENV.2012.6.4-1 Improving the resilience of society to catastrophic natural hazards through new risk-management partnerships

起こる確立は低いが起こった時の社会経済への影響が甚大な自然災害に関するリスク評価と管理に関するプロジェクトの公募。日本との協力が特に謳われているわけではありませんが、東日本大震災が明らかな例として挙げられており、協力の可能性は当然高いものと思われま

領域7: 交通（航空を含む）

公募番号: FP7-AAT-2012-RTD-JAPAN

次項参照

公募番号: FP7-SST-2012-RTD-1

テーマ: SST.2012.4.1-3. Large scale naturalistic driving observations for safe and sustainable transport

通常運転行動（naturalistic driving）に関し、米国や日本での先行研究を考慮すべしとされており、参画の可能性が大きいと思われま

公募番号: FP7-TPT-2012-RTD-1

テーマ: TPT.2012.2-2. Reduction of the vulnerability of the European Transport System to extreme weather events and natural disasters

国際協力が特に望ましいテーマであり、米国と日本が例として明記されています。

領域9: 宇宙

公募番号: FP7-SPACE-2012-1

テーマ: SPA.2012.1.3-03 GMES Climate Change – Data archiving and exchange

国際的な視野にたったプロジェクトを提案すべしとされており、EUと科学・技術協力協定を結んでいる国やその他の宇宙開発に実績のある国との連携が気候変動や地球の観測の幅を拓けるものとして、特に米国と日本が挙げられています。

テーマ: SPA.2012.2.1-01 Exploitation of space science and exploration data

EUと科学・技術協力協定を結んでいる国やその他の宇宙開発に実績のある国との連携がデータの利用、データ解析や管理に関して幅を拓けるものとして推奨され、米国や日本を含めたパートナーにも助成の用意があると読めま

テーマ: SPA.2012.2.2-01 Key technologies enabling observations in and from space

こちら、米国や日本を含めた国際パートナーにも助成の用意があると読めま

テーマ: SPA.2012.2.2-02 Key technologies for in-space activities

こちらにも、米国や日本を含めた国際パートナーとの連携が望ましく、これらの域外からの参加者にも助成の用意があると読めます。

6.2 航空分野の日欧共同公募

昨年の太陽光発電と超電導に続き、今年は航空分野で日欧共同公募が出されました。昨年と違うのは、日欧の同時公募ではなく、欧州側が先に出された点であり、現時点では欧州側の公募のみ受付中ですので、プロジェクトへの参加を考えておられる機関は、まず欧州側のパートナーと一緒に FP7 の公募に応募する必要があります。ご注意ください。その後、欧州側の審査を通ったプロジェクトに関わる日本側機関を対象にした公募が出される見込みです。

公募番号 (Call identifier) : FP7-AAT-2012-RTD-JAPAN

締切: 2011年12月1日 17:00 (ブリュッセル時間)

以下の5つのテーマが公募の対象であり、このうち優れた応募のあった上位3つのテーマについて助成が行われる予定です。

AAT.2012.2.2-3. 航空通信 (Aeronautical communications)**AAT.2012.3.3-6. 防氷システム (Anti-icing system)****AAT.2012.4.1-6. 航空エンジン用の表面熱交換器 (Surface heat exchanger for aero-engines)****AAT.2012.4.1-7. エンジン用セラミックベアリング (Engine ceramic bearings)****AAT.2012.6.1-5. 高速航空機 (High speed aircraft)**

プロジェクトには少なくとも欧州（欧州連合加盟国もしくはFP7関連国）の3つ以上の機関（少なくとも3ヶ国以上からの参加）、及び日本から2つ以上の機関の参加が必須となっており、欧州委員会と日本の経済産業省が共に4百万ユーロずつ出資をし、日本からの参加機関には経産省もしくは他の関連する機関が助成を行います。

6.3 欧州委員会による第3国向けの公募のまとめ

7月20日発表の公募に関し、欧州委員会が日本を含む主要な域外国向けに、FP7の国際協力を視野に入れた公募や、参加が特に期待できる公募のまとめを発表しました。

http://ec.europa.eu/research/iscp/index.cfm?pg=international_dimension_2012wp

前ページまでにご紹介したものは公募に日本が何らかの形で明記されているものですが、こちらはそういった明記の無かった医療、社会経済科学・人文、セキュリティー分野や研究インフラの整備などに関しても、特に日本からの参加が見込まれそうなものをリストにしてあり、是非ともご一読を頂きたいものです。

6.4 日本からの応募が可能なFP7公募一覧

以下に、現在出ているFP7の公募のうち、日本からの応募が可能なものをリストにまとめました。緑色のものは、特に日本からの参加をターゲットにした部分のある公募や日本からの参加者・機関に助成金が出る可能性のあるものです。

NMP: Nanosciences, nanotechnologies, materials and new production technologies; ENV: Environment; TPT: Transport

プログラム	テーマ	公募番号	応募締切	Comments
Cooperation	HEALTH	FP7-HEALTH-2012-INNOVATION-1	04 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	HEALTH	FP7-HEALTH-2012-INNOVATION-2	27 September 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ICT	FP7-ICT-2011-8	17 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	ICT	FP7-2012-ICT-GC	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ICT	FP7-ICT-2011-C	25 September 2012 at 17:00:00 (Brussels local time) - For Batch_14 STREP and CSA 10 April 2012 at 17:00:00 (Brussels local time) - For Batch_13 STREP and CSA 25 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time) - For Batch_12 STREP and CSA	FET Open scheme への応募は随時可。
Cooperation	NMP	FP7-NMP-2012-SME-6	03 May 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	All	FP7-ERANET-2012-RTD	28 February 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	NMP	FP7-NMP-2012-CSA-6	24 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	NMP, ENV, TPT	FP7-2012-GC-MATERIALS	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	

NMP: Nanosciences, nanotechnologies, materials and new production technologies; ENV: Environment; TPT: Transport, KBBE: Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology; SSH: Socio-economic sciences and the humanities

プログラム	テーマ	公募番号	応募締切	Comments
Cooperation	NMP, ENV, ENERGY, ICT	FP7-2012-NMP-ENV-ENERGY-ICT-EeB	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	NMP, ICT	FP7-2012-NMP-ICT-FoE	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	NMP	FP7-NMP-2012-LARGE-6	08 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	NMP	FP7-NMP-2012-SMALL-6	08 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	ENERGY	FP7-ENERGY-2012-2	08 March 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ENERGY	FP7-ENERGY-SMARTCITIES-2012	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ENERGY	FP7-ENERGY-2012-1-1STAGE	25 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ENERGY	FP7-ENERGY-2012-1-2STAGE	25 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	ENV	FP7-ENV-2012-two-stage	20 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	ENV	FP7-ENV-2012-one-stage	20 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	TPT	FP7-TRANSPORT-2012-MOVE-1	01 March 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	TPT	FP7-AAT-2012-RTD-JAPAN	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	TPT	FP7-SST-2012-RTD-1	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	TPT	FP7-AAT-2012-RTD-1	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	TPT	FP7-TPT-2012-RTD-1	01 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	TPT	FP7-AAT-2012-RTD-L0	25 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	KBBE	FP7-KBBE-2012-6-singlestage	15 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	SSH	FP7-SSH-2012-1	02 February 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	SSH	FP7-SSH-2012-2	02 February 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Cooperation	SPACE	FP7-SPACE-2012-1	23 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本が明記された公募有り
Cooperation	SECURITY	FP7-SEC-2012-1	23 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	

IRSES: International Research Staff Exchange Scheme; ITN: Initial Training Network; IIF: International Incoming Fellowships; IEF: Intra-European Fellowships; INFRA: Research infrastructures; SME: Research for the benefit of SMEs; REGIONS: Regions of Knowledge; REGIPOT: Research potential of Convergence Regions; SIS: Science in society; COH: Support to the coherent development of research policies; INCO: International Cooperation; JTI: Joint Technology Initiatives; IMI: Innovative Medicines; CS: Clean Sky; ENIAC: Nanoelectronics Technology 2020; FCH: Fuel Cells and Hydrogen

プログラム	テーマ	公募番号	応募締切	Comments
Ideas		ERC-2012-StG_20111012	12 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	主に物理工学分野
Ideas		ERC-2011-PoC	08 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Ideas		ERC-2012-StG_20111109	09 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	主に生命科学分野
Ideas		ERC-2012-StG_20111124	24 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	主に社会経済科学・人文分野
People	IRSES	FP7-PEOPLE-2012-IRSES	18 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
People	ITN	FP7-PEOPLE-2012-ITN	12 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
People	IIF	FP7-PEOPLE-2011-IIF	11 August 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	日本の機関に所属する研究者が欧州に行く場合はこちらを検討
People	IEF	FP7-PEOPLE-2011-IEF	11 August 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	欧州の機関に所属する日本人研究者はこれを検討の事
Capacities	INFRA	FP7-INFRASTRUCTURES-2012-1	23 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	SME	FP7-SME-2012	06 December 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	REGIONS	FP7-REGIONS-2012-2013-1	31 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	REGIPOT	FP7-REGPOT-2012-2013-1	03 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	SIS	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2012-1	22 February 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	COH	FP7-COH-2012-Procurers	05 January 2012 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	INCO	FP7-INCO-2012-2	15 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
Capacities	INCO	FP7-INCO-2012-1	15 November 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
JTI	IMI	IMI-CALL-2011-4	18 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
JTI	CS	SP1-JTI-CS-2011-03	12 October 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
JTI	ENIAC	ENIAC-2011-2	15 September 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	
JTI	FCH	FCH-JU-2011-1	18 August 2011 at 17:00:00 (Brussels local time)	

公募の内容や応募条件、具体的な応募方法等、何かご質問やご要望がありましたら、J-BILATにお知らせくだされば、できる範囲でお答え致します。また、ご応募の後に採択された場合など、ぜひご参加に至る過程や実際のプロジェクトの様子など、体験をお寄せいただければと思います。

7. プロジェクトデータベースへの登録のお願い

プロジェクトに関する情報をお送りするために、データベースへの登録をお願いしております。プロジェクトウェブサイトからの登録に加え、メールやファックスにて、以下の情報をお送りいただいても結構です。

<http://www.j-bilat.eu/registration/>

Registration for the project database can be done through the following website, or by sending the information listed below to the project manager.

<http://www.j-bilat.eu/registration/>

- Title (Mr. Ms. Dr. Prof.)
- Surname 姓
- Name 名前
- Position 役職
- Affiliation 所属
- Mailing address 所属先住所 (optional)
- E-mail address メールアドレス
- Telephone No. 電話 (optional)
- Fax No. ファックス (optional)
- Area of interest (multiple choice from the following list:

Health; food, agriculture and biotechnology; information and communication technologies (ICT); nanosciences, nanotechnologies, materials and new production technologies; energy; environment (including climate change); transport (including aeronautics); socio-economic sciences and the humanities; security; space; other “ ”

興味のある分野（複数可）

保健・食料・農業・漁業・バイオテクノロジー・情報通信技術・ナノ科学及びナノテクノロジー・材料及び新生産技術・エネルギー（原子力を除く）・環境（気候変動を含む）・運輸（航空を含む）・社会経済科学及び人文科学・宇宙・安全・原子力・その他 「 」

8. 欧州連合加盟国紹介 その12 スペイン

欧州連合加盟国の特に研究開発に関し、順次簡単な紹介をしています。

漢字表記：スペイン (略称 西)
面積：505,370 平方キロ
主要都市: マドリッド (首都)、バルセロナ、バレンシア、セビリア、サラゴサ
人口：4650 万人 (2009)
公用語：スペイン語 (カスティーリャ語)
宗教：ローマ・カトリック 94%
名目GDP：1.359 tn USD (2010) 産業構成GDP: 農業: 3.0 % 工業: 26.2 % サービス業: 70.8 %
科学・技術： 国全体の研究開発支出 (Gross Domestic Expenditure on R&D ; GERD) : GDPの1.35% (2008) 研究開発費の出所 政府 43.7% 民間 45.5%



スペインの科学・技術振興に重要な役割を持っているのは科学・イノベーション省 (Ministerio de Ciencia e Innovación; MICINN) である。

<http://www.micinn.es/> (部分的に英語のサイト有り)

科学・技術国家戦略 (Estrategia Nacional de Ciencia y Tecnología; ENCYT) に基づき、欧州の中では遅れも見られるスペインの科学・技術を振興すべく、INGENIO2010 等のプログラムを打ち出している。また、JSTと共同で戦略的国際科学技術協力推進事業が行われている。MICINNの傘下で産業技術開発を促進しているのが 産業技術開発センター (Centro para el Desarrollo Tecnológico Industrial; CDTI) であり、NEDOとの共同助成プログラムも存在する。

<http://www.cdti.es/>

日西科学・技術協力協定は2010年に締結されている。

(出典: CIA Factbook, Wikipedia, OECD, ERAWATCH, 他)

日本におけるFP7情報サービス事業(J-BILAT)

事業名	BILAT in Japan	省略形	J-BILAT
開始日	2010年1月1日	契約書番号	244310
期間	36 ヶ月	予算	612,090 EUR (内 FP7 助成金が500,000 EUR)

本ニュースレターに含まれるFP7関連その他の情報は得られた時点で最新のものを正確にお伝えするよう努めておりますが、意見等は関係機関の公式見解を表わすものではなく、また本文に EU の公式文書その他の日本語訳が含まれる場合にも、原典と同等の内容の正当性を保証するものではありません。本ニュースレターに関するご意見・ご要望・配信の停止等のお問い合わせは、右記の担当 市岡までお寄せ下さい。

Fabrizio Mura
プロジェクト代表
E-mail: fabrizio.mura [at] eu-japan.gr.jp
市岡 利康
プロジェクトマネジャー(J-BILAT担当)
E-mail: toshiyasu.ichioka [at] eu-japan.gr.jp
日欧産業協力センター
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3
ラウンドクロス一番町4階
Tel.: +81 - (0)3-3221-6161
Fax: +81 - (0)3-3221-6226



J-BILAT is on twitter

© 日欧産業協力センター
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation
編集: 市岡 利康